

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員
斉藤くに子
区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/



2022年2月20日No1288号

区役所直通3802-4627

fax3806-9246

★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

2月28日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は御前町駅にお越しください。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax3806-5134

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しく願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

旧東京女子医大東医療センターを コロナ臨時病床に活用



工事関係者から「旧東京女子医大の改修工事が中断している」との情報が区議団に寄せられ、真相を問い合わせていた最中、2月9日のTBSネットニュースや夕方のNHKで報道がありました。

区の担当部長によると、東京都と協議を始めた最中に首相・知事の会見が行われてしまったようです。

議会も地元の全く知りませんでした。緊急事態の中で、臨時的に活用することは必要とは考えます。

旧東京女子医大東病棟に100～150床を設け、高齢者施設から患者の入院を受け入れたり、透析患者の治療などを行ったりするとしています。

すでに女子医大の移転で、ベッド等備品はありません。

また必要な医療看護スタッフについても都と国が責任を持って手配し、2月中には稼働させたい考えのようです。

旧東病棟は2023年1月には新病院(令和あらかわ病院)を開設することになっていますが、今回のことで開設が遅れることはないように、最長でも臨時病床の使用は5月中旬までと考えているようです。

また出来る改修工事は平行してすすめるようで、工事業者との動線や工期短縮に伴う業者負担の対応・近隣住民への説明と配慮などが必要です。



旧東病棟・入院棟

上野中野線入居として利用されている旧病棟

2021年12月13日より、旧赤羽中央総合病院(北区)を活用し、新型コロナウイルス感染症に係る酸素・医療提供ステーション(東京都初:150床で10床が人工透析にも対応可能・抗体カクテル療法も行う)を開設しています。

2月議会が始まりました

2月17日には本会議が10時から16時まで開催されました。

日本共産党区議団からは横山幸次議員が代表質問を行いました。質問と答弁の内容をご紹介します。

子どもの医療費18才まで無料は一日も早く実施出来ると思います。

日本共産党区議団 3本の条例を提案します

毎年、荒川区新年度予算審議の時に、区民の実態や要望で一番必要と思われる支援策について、日本共産党区議団は条例案を作成して提案をしています。

今回は以下の3本を議会にかけます。

①中小企業事業継続支援補助→国の「事業復活支援金」の対象外となる売上減少10%以上30%未満の区内事業者に対し30万円支給。

②ひとり親家庭の住宅費助成→公営住宅入居基準に該当する家庭に月3万円の家賃補助を行う。

③就学援助基準引き上げ→現在の生活保護基準1.2倍から1.5倍に引き上げる。(①は2月21日総務企画委員会・②③は2月22日文教子育て委員会で審議します)

補聴器助成を荒川区でも早く

英医学誌ランセットも2017年と2020年に難聴は高血圧や喫煙、肥満などと並んで認知症のリスク要因と発表。日本長寿医療研究センターも400人のデーター1997年から最長16年に渡って追跡し補聴器をうまく使えば認知機能の低下を抑制できると。白内障レンズが保険適用されたように、補聴器も保険適用を含め補助の対象に!!23区中16区では補助が実現!!